

■ 本県初の文学博士

# 根本 通明

ねもと つうめい

出身地 大仙市（旧西仙北町）

1822年（文政5年）～1906年（明治39年）

藩校明德館の教授・学長。維新後、東京帝国大学教授として漢学・支那語学第2講座を担当。秋田易学・明治易学の最高峰で、日・清の学会からユニークさを謳われた。主著に『周易象義弁正』がある。



## 年譜

- 1822年 大仙市（旧西仙北町）に生まれる。幼名・周助。
- 1858年 明德館教授。
- 1868年 明德館学長。従軍、陣場奉行。翌年、学士。
- 1874年 大蔵省記録寮に出仕。翌年、沿革誌編纂取調掛。
- 1883年 宮内省御用掛、斯文塾教授。
- 1886年 明治天皇に周易を御進講。
- 1896年 帝国大学文科大学教授。学会員。
- 1899年 文学博士となる。
- 1901年 『周易象義辨正』出版。根本文学博士祝寿会。
- 1906年 東京都で没。84歳。